

贈閱

长 白 山

医药历史文献简介



吉林省中医中药研究所情报室

前 言

长白山位于吉林省东南部，是世界最大的自然保护区、名山之一。长白山历史悠久、风景秀丽，资源丰富、生态系统完整，它越来越多地吸引了国内外科学工作者及旅游者到此考察和游览。

长白山是东亚高山植物代表区，蕴藏着丰富的动、植、矿物药资源，从古至今居住在这里的各族人民在开发利用当地资源做了大量工作，有大量的记载当地经济文化、物产等方面的文献资料，由于战争及其它许多原因，一些珍贵的文献都已失传。我们将能收集到的散落在民间或东北各地有关记载长白山医药历史文献整理成册，为世人全面了解长白山的医药历史概貌，为科技人员开发研究长白山药用资源提供较系统的资料，也利于旅游者对长白山全面了解。收集资料的范围以记载长白山主脉及长白山区（吉林省通化市、吉林市、浑江市、延边朝鲜族自治州，共22个县）为主，也有少量的隶属长白山脉系的辽、黑两省的部分地区资料。由于多种原因，还有许多文献没有收载入册，敬请读者谅解。在收集整理过程中得到吉林省图书馆、辽宁省图书馆、大连市图书馆等单位的大力支持，并由东北师范大学王继祥教授，长春中医学院王者悦教授审校，在此一并致谢。

编者

一九九〇年十月

目 录

一、东北地区志

- (嘉靖) 辽东志····· (1)
- (熙康) 扈从东巡日录····· (1)
- (乾隆) 盛京通志····· (1)
- 东北要览····· (2)
- 东北经济小丛书····· (2)

二、辽宁省省、市志

- 奉天通志····· (3)
- (民国) 沈阳县志····· (3)
- (民国) 复县志略····· (3)
- (民国) 庄河县志····· (3)
- (伪康德) 庄河县志····· (4)
- (宣统) 海城县志····· (4)
- (民国) 海城县志····· (4)
- (伪康德) 海城县志····· (5)
- (宣统) 抚顺县志略····· (5)
- (民国) 抚顺县志····· (5)
- (光绪) 兴京厅乡土志····· (6)
- (民国) 兴京县志····· (6)
- (伪康德) 兴京县志····· (6)
- (光绪) 怀仁县乡土志····· (7)

(民国) 桓仁县志	(7)
(民国) 安东县志	(7)
(宣统) 岫岩县乡土志	(8)
(民国) 凤城县志	(8)
(光绪) 宽甸县乡土志	(8)
(宣统) 宽甸县分志	(9)
(民国) 宽甸县志略	(9)
(民国) 义县志	(9)
(民国) 盖平县乡土志	(9)
(民国) 盖平县志	(10)
(康熙) 辽阳州志	(10)
(光绪) 辽阳乡土志	(10)
(民国) 辽阳县志	(11)
(宣统) 盘山厅志	(11)
(民国) 盘山县志	(11)
(民国) 营口县志	(11)
(民国) 铁岭县志	(12)
(民国) 兴城县志	(12)
(乾隆) 开原县志	(12)
(民国) 开原县志	(13)
(伪康德) 西丰县志	(13)

三、吉林省省、市志

(道光) 吉林外记	(13)
(光绪) 吉林省志略	(14)
(光绪) 吉林通志	(14)
(民国) 吉林地志 附鸡林旧闻录	(15)
(民国) 吉林汇征	(15)

(民国) 吉林地理纪要.....	(16)
(民国) 大中华吉林省地理志.....	(16)
(民国) 吉林省人文地理学.....	(16)
(伪康德) 吉林新志.....	(17)
(民国) 永吉县志.....	(17)
(伪康德) 永吉县乡土志资料.....	(18)
(民国) 桦甸县志.....	(18)
(民国) 吉林省磐石县乡土志.....	(18)
(伪康德) 磐石县乡土志.....	(19)
(伪康德) 额穆县一般状况.....	(19)
(伪康德) 额穆县志.....	(20)
蛟河县志.....	(20)
(宣统) 东平县乡土志.....	(21)
(民国) 东丰县志略.....	(21)
(民国) 东丰县志.....	(21)
(伪康德) 东丰县一般状况.....	(21)
(民国) 临江县乡土志.....	(22)
(伪康德) 临江县志.....	(22)
(伪康德) 临江县一般状况.....	(22)
(宣统) 通化县乡土志.....	(23)
(民国) 通化县志.....	(23)
(伪康德) 通化县志.....	(23)
(伪康德) 通化县一般状况.....	(24)
(伪康德) 濛江县政概要.....	(24)
(光绪) 柳河县乡土志.....	(24)
(民国) 抚松县志.....	(25)
(光绪) 海龙府乡土志.....	(25)

(伪康德)海龙县概况	(26)
(民国)海龙县志	(26)
(伪康德)海龙县志	(26)
(光绪)辑安县乡土志	(27)
(民国)辑安县乡土志	(27)
(民国)辑安县志	(27)
(宣统)奉天辉南厅志	(28)
(民国)辉南县乡土志	(28)
(民国)辉南县志	(28)
(伪康德)辉南县公署县务年报	(28)
(伪康德)辉南县公署统计汇志	(29)
大金国志	(29)
金小史	(29)
白山黑水录	(30)
(光绪)长白设治兼勘分奉吉界线书	(30)
(宣统)长白江岗志略	(31)
(宣统)长白汇征录	(31)
(伪康德)长白县一般状况	(31)
吉林省延边朝鲜族自治州州志	(32)
(宣统)安图县志	(32)
(民国)安图县志	(32)
(民国)珲春县志	(33)
(伪康德)珲春乡土志	(33)
四、黑龙江省、省市志	
黑龙江志稿	(34)
(民国)宁安县志	(34)
(民国)依兰县志	(34)

(民国) 珠河县志	(34)
(民国) 双城县志	(35)

五、日文图书

满洲地志	(35)
满洲の药用人参	(36)
满洲物产原志	(36)
人参神草	(36)
长白山预备调查报告书	(37)
濛江县事情	(37)
满洲の汉药	(38)
满洲の物产	(38)
满洲の资源	(38)
东边道	(39)
长白山综合调查报告书	(39)
长白山	(40)
通化省史话	(40)
北满东满植物目录	(40)
原色图谱药草满洲	(41)
辽阳	(41)
满洲の食用野生植物附有毒植物	(41)
东满事情	(42)
满洲产药用植物采收方法	(42)

六、现代著作

长白山西侧中部森林植物调查报告	(42)
辑安县参业史	(43)
吉林省野生经济植物志	(43)
长白山自然地理概观	(44)

吉林中草药.....	(44)
东北动物药.....	(44)
中国药用动物.....	(45)
长白山植物垂直分布名录.....	(45)
长白山人参故事.....	(45)
吉林省有用和有害真菌.....	(46)
长白山药用植物资源调查报告.....	(46)
长白山中.....	(46)
漫话人参.....	(47)
长白山地理系统论文集.....	(47)
长白山植物药志.....	(47)
长白山.....	(48)
长白山动植物名录.....	(48)
白头山天池.....	(48)
中国药用地衣.....	(49)
盘石县草场主要野生植物名录.....	(49)
龙井县野生经济植物简志.....	(49)
延边地区野生经济植物资源调查资料.....	(49)
常见药用动物.....	(50)
辽宁省白石砬子植物名录.....	(50)
长白山鸟类.....	(50)
长白山西南坡野生经济植物志.....	(51)
长白山西南坡野生经济动物志.....	(51)
长白山鸟类志.....	(51)
吉林省长白山区野生经济植物名录.....	(52)
长白山奇观.....	(52)
长白山动植物世界——传说故事.....	(52)

老秃顶子自然保护区植物名录.....	(53)
中国药材图志.....	(53)
吉林省中药资源名录.....	(53)
长白山动物记.....	(54)
长白山地区自然资源开发与生态环境保护.....	(54)
全国中药材资源分布.....	(54)
中国珍稀濒危保护植物.....	(55)
中国本草图录.....	(55)
长白山志.....	(56)
吉林名优特产.....	(56)
中国珍稀濒危植物.....	(57)

一、东北地区志

(嘉靖) 辽东志 九卷

(明) 任络续修 王祥 毕恭纂 嘉靖十六年 (1537年)
铅印本

该志卷一“地理志”，在“物产”药目中列有人参、五味子、细辛、芍药、柴胡、桔梗、防风、苦参、虎骨、鹿角霜、鹿角胶等127种动、植物药。在“花属”、“果属”及“兽属”目中对有药用价值的动、植物也有说明。

①③

(康熙) 扈从东巡日录

高士奇撰 康熙二十三年 (1684年) 刻本

这部日记体的地方史著作，记载康熙二十一年 (1682年) 圣祖东巡，经过河北、辽宁、吉林三省之地的一路见闻。详述所经之地的有关史实，物产资源、民族风情等。记载了长白山产獐、鹿、虎、貂等药用动物及人参、红草果、蓼芽菜、老鸦眼、莨菪草等药用植物的形态、功用等内容。

⑤

(乾隆) 盛京通志 一百三十卷 首一卷

阿桂修 刘澐之纂 乾隆四十四年 (1779年) 铅印本

卷106—107“物产”，在“药之属”中记载人参、五味

子、茯苓等104种药用植物，对其生态及入药部位、性能等都做了详细的描述。在“花属”、“木属”“果属”中对有药用价值的植物，对其药用部位也都有记述。

注：盛京，即今沈阳市。

②⑧⑪

东北要览

金毓黻主编 1944年重庆国立东北大学编印

该书“药材（附）”中记载：称为“关东三宝”之一的人参，其产地以辽、吉、黑三省长白山区，“北迄兴安岭、南至长白山之山岳地带，产额甚丰”。种类有山参、园参、移山参。人参是重要出口品之一，书中列举民国二十三年（1934年）——民国二十七年（1938年）的人参输出情况。指出输出大半为内地各省及日本、朝鲜，并且统计了数量和价格，还记载了甘草、麻黄、黄耆、鹿茸四种珍贵药材的功用、产地、产额数量及价格。

④⑤⑦⑧⑩⑪⑭

东北经济小丛书

东北物资调节委员会研究组编 1947年——1948年沈阳中国文化服务社

东北地方采取山参，传闻自唐代开始，现在主要为人工栽培的园参，以长白山麓及抚松、安图两县所产著名。由于生产费用高，高丽参由日人经营销路广，东北参业已无昔日之盛。

①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑬⑭

二、辽宁省省、市志

奉天通志 二百六十卷 首一卷

白永贞修 王树楠纂 1934年铅印本

卷一百一十“物产志”药属记有人参、细辛、五味子、熊胆、鹿茸等110种药材。卷二百一五“实业志”商业目记载人参主要输出日本、朝鲜两国。

⑤⑦⑧

（民国）沈阳县志 十五卷 首一卷

赵恭寅修曾有翼纂 奉天作新印刷局 民国六年(1917年) 铅印本

卷十二“药材”节中记载了五味子、地丁、茵陈、五加皮、桔梗、益母草、牛黄、五灵脂、朴硝、石膏等102种动植物药及矿物药。

①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑫⑬⑭

（民国）复县志略

程廷恒修 张素纂 民国九年(1920年) 石印本

该志物产表中记载了动植物药材，如：桔梗、五加皮、牛黄、腥膈脐（海狗肾）等29种。

①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑭⑮

（民国）庄河县志 十二卷

廖彭修 宋抡元纂 奉天作新印刷局 民国十年（1921年）
铅印本

卷十“实业”，记载该县有药铺八家。卷十一“物产”药材目中介绍人参、五味子、苦丁香、牛黄、夜明砂、海螵蛸、硫黄等动、植物药及矿物药共67种，并说明其生境形态及入药部位。

⑦

（伪康德）庄河县志 十八卷 首末各一卷

王佐才修 杨维崙纂 庄河永源书局 伪康德元年（1934年） 铅印本

卷九“物产志”药材目中记载了藁本、牵牛、五味子、寄奴、白藓皮、桔梗、牛黄、硫黄等动、植物药及矿物药67种。

①②③⑤⑧⑩

（宣统）海城县志

管风和等修 张文藻纂 宣统元年（1909年） 铅印本

在“物产”植物谷类、草类、花类等中对有药用的植物都有说明，在药类中介绍细辛、五味子、桔梗、苦参等31种药材的产地、生境形态等情况。在动物中对能入药的螺、蚯蚓等也做了说明。“商榷”节中，指出“药材，销于本境，值银三万两”。

①③⑦

（民国）海城县志 八卷

廷瑞修 张辅相等纂 海城大同书局 民国十三年（1924

年) 铅印本

卷五“物产志”，按药名、生态、药性功用等记载了人参、苦参、五味子、益母草等135种植物药材，还有牛黄、狗宝、僵蚕、滑石粉、元明粉等24种动物药和矿物药。

①③⑦⑧⑨⑫⑭

(伪康德) 海城县志 六卷

陈荫翹修 威星岩纂 伪康德四年(1937年) 铅印本

该志是民国年间修《海城县志》增修之本。卷五“物产志”植物药材目中，介绍了人参、沙参、五味子、细辛等138种植物药的生态、性味功能等，还附有25种动物药及矿物药。

①②③⑤⑦

(宣统) 抚顺县志略

程廷恒修 黎镜蓉纂 宣统三年(1911年) 石印本

在物产表第二十三“植物”表中，介绍了桔梗、柴胡、细辛、五味子等50余种药材，在“动物”表中记有蜂、鳖、哈士蟆等药用动物。

①②⑦

(民国) 抚顺县志 六卷

张克湘修 周之桢纂 民国二十年(1931年) 抄本

卷二“政治志”中记载了公立医院情况。卷五“物产志”，

在“植物”药属中记有贝母、茯苓、桔梗、五味子、蜂房、牛黄等43种动、植物药，并介绍其生态形状，入药部位等情况。

①③

（光绪）兴京厅乡土志 四卷

兴京厅署编辑 清光绪三十二年（1906年） 抄本

卷四“物产”，在“动物”及“植物”药类目中记载人参、五加皮、五味子、细辛、木通、牛黄、鹿胎、鹿茸、熊胆、虎骨等动植物药40余种。在“商务”中记载了人参、鹿茸、细辛、贝母等12种药材交易情况。

⑤

（民国）兴京县志 十五卷

沈国冕修 苏民纂 民国十四年（1925年） 铅印本

卷十一“物产”药材类中记载地丁、人参、远志、五加皮等43种药物。

注：兴京县于1929年改为辽宁新宾县。

①③⑫

（伪康德）兴京县志 十五卷 首一卷

张耀东修 李属春纂 伪康德三年（1936年） 铅印本

第十三卷“物产”植物的谷类、蔬类、花果类以及草木类中记述了许多药用植物。在药类中专列人参、细辛等43种。在动物中记载了鹿、熊、虎、獾、狍等药用动物。并记载“毒蛇

胆最能解毒，中毒蛇者取其胆食之立解。”

(光绪) 怀仁县乡土志

景霖修纂 1965年传抄光绪三十三年(1907年) 稿本

该志下编“植物”药类中介绍人参、五味子、细辛、木通、桔梗、鹿茸、熊胆、麝香等40种药材。在“物品制造表”中介绍了熊油、熊胆、茸角等的产地、销售处情况。在“商务”节“出口岁计表”中，记有秧参、参须子、蜂蜜等药材出口情况。

⑦

(民国) 恒仁县志 十七卷

侯锡爵修 罗述明等纂 民国十九年(1930年) 铅印本

卷八“物产”，在动物以及植物各类中对有药用价值的都予说明，药类目中记有人参、鹿茸等54种。并加按语云：“东边各处所产药材极多，杂生于森林茂草之间，乡人无所考证，认之未确，以致不敢来取，弃于地亦可惜也”。

①

(民国) 安东县志 八卷 首一卷

关定保等修 于云峰等纂 安东宏业号铅印部 民国二十年(1931年) 铅印本

卷二“物产”中介绍了人参、五味子等37种植物药材，并详细说明其生境形态、功能、入药部位，还介绍了牛黄、水蛭、牡蛎粉等动物药。

卷六“人事”中医业目，详细介绍了该县的医业情况，记载有中药房39家，中医58人，药剂士49人。也介绍了国立医院、外国医院情况。“中医医学会”于民国元年五月创立，并附有历任正副会长。

卷八“卫生”各目中，详细介绍了安东县医院历史、现状、并附诊疗章程及“安东丝业工人疗养所”等情况。

①⑤⑦

（宣统）岫岩县乡土志

贺简修 宣统元年（1909年） 抄本

该志“物产”中记载了该县产人参、五味子、细辛等40种中草药。

①

（民国）凤城县志 十六卷 首一卷

沈国冕 蒋龄益等纂 民国十年（1921年） 石印本

卷十四“物产”中记载了人参、细辛、麝香、鹿茸、熊胆、滑石等87种动、植物类及矿物类药材。

①②③④⑤⑦⑩⑪⑫⑮

（光绪）宽甸县乡土志

马梦吉编 光绪三十三年（1907年） 抄本

该志“物产志”中记载了五味子、桔梗、黄柏、木通等10余种药材。

②③